
鉱山研究会 ニューズレター

臨時号 2018 年 11 月 27 日

第 50 回 鉱山の映像を観る会のご案内

前半は、ディスカバリーチャンネルの「舞台裏のスーパーテクノロジー（原題 How Do They Do It?）」から、金属、鉱山・鉱業に関する映像を集めたものを上映。

休憩を挟んで後半は、平塚尚護さんの映像コレクションから、茂尻炭礦に関する DVD を紹介していただきます。茂尻炭礦は、今から 100 年前の 1918 年に北海道赤平で最初の炭鉱として開坑し、1935 年から雄別炭礦株式会社の所有となり、1969 年 5 月に閉山しました。来年は茂尻炭礦閉山 50 年に当たります。

【日時】2018 年 12 月 15 日（土）開場 13:00 上映 13:30～16:30

【会場】渋谷区立勤労福祉会館 2F 第 3 洋室（渋谷区神南 1-19-8）

【会費】無料

【上映内容】

13:30～15:35 TV シリーズ「舞台裏のスーパーテクノロジー（原題 How Do They Do It?）」（ディスカバリーチャンネル放送、2006 年～）より金属、鉱山・鉱業に関する映像を集めたもの、計約 125 分。

15:35～15:45 休憩

15:45～16:35 「茂尻炭礦 思い出日記」赤平写真映像資料収集会、
2009 年、約 50 分。

16:35～ 会からのお知らせ、情報交換

※ご意見ご要望のある方は、丸山〈jmrs.eizonokai@gmail.com〉にご連絡ください。
映像の会担当 丸山雅子（まるやまもとこ）

例 会 案 内

会場を変更しましたので、ご注意ください。

久しぶりに足尾の話題です。

新入会員の**三浦一馬**です。足尾銅山の研究をしています。

足尾銅山の閉山後、足尾町は急激な人口流出に見舞われました。古河、行政でも振興計画を打ち出し、これに対応しようとしてきました。しかし、その中には実現されずに終わったものも多くありました。一般的には閉山前の古河側の公約が守られなかったと受け取られるものと思いますが、実際には政策の中心を担うべきであった町政にも混乱が生じていたことも原因であり、一概に古河の責任であるとは言えないことが調査をしていく過程でわかってきました。

こうした閉山後の町政の状況について描いていきたいと考えています。

当時、町議員をされていた方へのインタビューと頂いた資料をもとに検討します。

専門外であるだけでなく、まだまだ構想途中なため至らない点が多々あります。みなさまからのご意見をいただきたく思います。よろしくお願いいたします。

もう1本は、**村田 淳**が2018年10月にニュージーランド（NZ）のクロムウェルで開催されたオーストラリア鉱山史協会の年次大会の報告と開催地周辺の鉱山地域の旧鉱山の歴史と漂砂鉱床の採鉱について報告します。

NZでもゴールドラッシュの時期がありました。オーストラリアは1848年に、カリフォルニアは1849年、NZは1850年代にラッシュとなりました。3地域ともそれぞれイングランドを始め、相互の国の坑夫と資本が殺到しました。また3地域ともに中国人労働者が坑夫として大勢が出かけていき、それぞれにキャンプを形成しました。その後、排斥の目にあいます。

金はほとんどが氷河と河水による漂砂鉱床中にあり、スルース、ハイドロ、ドレッジで採鉱されました。浚渫採鉱はNZが世界で最初にはじめました。当初は、潜水艇やスプーンで砂金を採掘した歴史もあります。その後アメリカで大規模におこなわれるようになりました。

■報告：①三浦一馬「閉山後の足尾町政と企業の関係」

②村田 淳「2018年度AMHA、ニュージーランド・クロムウェル大会報告——漂砂鉱床採鉱を中心に」

■日時：2019年1月26日（土）13時30分～17時

■会場：渋谷区立勤労福祉会館 2F 第3洋室 （渋谷区神南1-19-8）

□問合せ先：村田 淳 電話：045-401-5259

第 14 回 伊豆鉾山(伊東郊外ほか)巡検案内

伊豆半島には、名前が変わり重複したものも含めて 140 の鉾山があると思われます。まさに坑だらけ、鉾山半島ともいえます。なかにはまた中世や近世に起源をもつ鉾山もあります。これらの鉾山のあり方は近代のものとはかなり違った様相をしています。

まだ訪れていない鉾山が多く残されています。鉾山の原初の姿とその成り立ちの過程をしのべます。後に大鉾山に発展したものもあります。

以前に巡検ですで見学したところもありますが、また別の視点から見てみることも有意義と思います。

■日程：2019 年 3 月 9 日（土）～10 日（日）（1 泊 2 日）

■集合時刻と場所：3 月 9 日（土）13 時（場所は参加者の希望で決定）

昼食は済ませておくこと。（伊東駅か伊東マリンタウンの予定）

■見学場所：

◎9 日（土）午後 伊東郊外鉾山（案内・高岡秀俊）

・17:30 頃 サニー Crest 伊東到着、入浴後、18:30 館内レストランで夕食

◎10 日（日）午前 大仁、薬師沢、ほか 弁当持参

◎午後 解散（解散場所未定、参加者の相談で決定）

■宿泊：サニー Crest 伊東 フロント Tel 0557-38-6270

〒414-0055 静岡県伊東市岡 378-1（素泊まり、夕食は宿泊場所）

■服装・装備：服装は丈夫で汚れてもよい上着と足元のしっかりした靴あるいは長靴。ヘルメット、ハンマー（あればよい）。

■参加費：??円（未定）（集合場所までの交通費と食事代は含まれません。）

■申込締切：宿泊に人数制限がありますので、定員に達しだい締め切ります。

参加可能な人は事前に連絡をください。

□連絡先：村田 淳 住所：221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

電話・FAX：(045)401-5259 メール：sunao-murata@sashinet.jp

□参加者：11 月 24 日現在 3 名（高岡秀俊、伊東和則 村田淳）

*村田は携帯電話を所持していません。

*2018 年 11 月 27 日 村田淳記

『鉱山研究』原稿募集

内容は鉱山に関係するものであれば、分野を問いません。お手元にある資料や研究ノートの形式でもかまいません。原稿はできればメールで村田にお送りください。

なお採否は編集担当が審査します。原稿は原則として見出し、図版を含めて10頁以内(1頁1638字×10頁)、字数は全て文字数に換算すると1,6380字以内です。ただし、長いものは必要があれば数回にわけて掲載することも可能です。

▼原稿送付上の注意

①本文中に図版を組み込んだ完成原稿の場合でも、編集、レイアウト作業の必要上原稿の再送をお願いすることがあります。

②完成原稿でない場合、編集、レイアウト作業の必要上、文字原稿と図版(写真、図表など、その位置を本文中に明示)は本文中に組み込まず、別立てで送ってください。さもないと何回もやりとりをしなければならない場合があります。厳守してください。

■締切:2018年12月末日 締切日は相談に応じます。村田淳まで連絡をください。

■発行:2019年3月末の予定

□問い合わせ・送り先:村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

Phone・Fax:045-401-5259 メール:sunao-murata@asahinet.jp

2019年度 年次大会報告者の募集

会員の皆様の報告をお願いします。年に一回なるべく多くの会員の参加をお願いします。報告していただける人を募集しています。

テーマは、鉱山に関係するものでしたら何でも構いません。映像資料の上映でも構いません。

持ち時間は、原則として、報告20分、質疑応答10分です。時間が足りない場合は申し出てください。考慮いたします。

また、会員でなくてもかまいません。

■日時:4月20日(土)(予定) 午後13時30分~17時

■会場:(未定)

□問い合わせ・送り先:村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

Tel・Fax:045-401-5259 メール:sunao-murata@y8.dion.ne.jp